

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 B-3 人権・同和教育【3回連続講座】②を実施しました！

「なかまづくりは『隠れたカリキュラム』」

【講師】 伊賀市教育委員会学校教育課指導主事 師井 佐知子 先生

8月6日(火)、「人権・同和教育3回連続講座②」を実施しました。前半はグループにわかれ、各自のレポートをもとに、1学期に進めてきた「なかまづくり」の取組や視点となる子どもや保護者の背景、そのことを意識した取組などを交流しました。そして、質問やレポートには書かれていないけれど気になることなどを出し合いました。そのやりとりのなかで、「気になる行動をとる背景には何があるのか」、「日常的ななかまづくりの取組をどのように進めているのか」など具体的な話をする受講生の姿がみられました。子どもの言葉や保護者の言葉などの事実をもとに、話をすることで自身の取組を振り返ったり新たな視点に気づいたりすることができました。



後半の全体会では、初めにグループ交流で話し合われたことを全体で共有しました。その後、師井指導主事から21名全員のレポートについて、一人ひとりにご助言いただきました。その中で、特に大切にしたいこととしてご指導いただいたことを紹介させていただきます。

1点目は、「お互いのことを知るとはどういうことか」という点です。お互いのことを知るとは、一人ひとりの個性、生活背景、くらしがあるということを知り合うことであり、日常的なくらしの交流をしていくことが大切なることを学びました。

2点目は、「つづり方は交流するためにつづるというものではない」という点です。つづるという営みは、自分のくらしを見つめるためであって、交流するためにつづるものではないということを確認しました。

3点目は、家庭訪問についてです。電話だけではわからなかったことが家庭訪問を行うことでわかってきたという取組のレポートがあったように、家庭訪問を行うことで学校や園の様子だけでは見えない部分(家庭でのくらしぶりや保護者の視点児生に対する思いなど)が見えてくるということです。

今回のレポート交流を通して、明らかとなった課題点や師井指導主事から教えていただいたことを今後の取組に活かさせていただきますようよろしくお願いいたします。

アンケートより【一部抜粋】

・今回の研修やレポートの作成を通して、子どもの様子を丁寧に見ていくことの重要性に気づくことができました。また、保護者との会話や視点児との会話でくらしや育ってきた背景を知っていくことで、日々の教育活動や声かけにつなげていくべきだと感じました。(小)

・師井先生の話から子どもたちが伝えたいと思うようなタイミングを大切にすることと伝えたいとなった時の支援をもっと考えなければならないと思いました。また、親の思いを知るためにも家庭訪問や日々の連絡を大切にしていきたいです。(中)